

ほうじん 鳥栖



2014
第82号
1/15

発行所
公益社団法人
鳥栖法人会
鳥栖市元町 1380-5
tel 0942-82-5400
fax 0942-84-0143

E-mail tosu-ho@kurume.ktarn.or.jp
URL <http://www.saga-houren.jp/tosu/>

「自分の的をみつめましょう」



白石神社の流鏝馬 (写真提供・藤永正広氏)

今年は「午年」。「子年」で始まった干支も「午年」で折り返し。

「午年」は、季節でいうと「初夏」を表し、草木の成長が一段落し、夏の猛暑や秋の実りに向けて力を蓄える時期だそうです。

このことから自分の将来をみつめ、何かを学び力を蓄える年と言われています。

写真は、昨年白石神社で行われた「流鏝馬」(やぶさめ)。見事に的を射ています。

流鏝馬は中世武士の武芸鍛錬の代表ですが、現在の流鏝馬は、鎌倉時代に源頼朝公によって整えられたといわれ、射手は狩装束をまとい疾走する馬上から3個の的(板目を右上がりセット)を鏝矢(かぶらや)で射る神事として定着。

いよいよ4月から消費税が8%に。アベノミクスの3本目の矢「成長戦略」の行方は？

地域の中小企業を取り巻く環境は、依然として不透明。こんな時代だからこそ「自分の的」をしっかりと見つめ、射抜きましょう。

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ◆白石神社の流鏝馬.....01 | ◆各種研修会.....07 |
| ◆国際PRの成功—東京五輪招致.....02 | ◆午年に寄せて(寄稿).....08 |
| ◆新年のご挨拶 税制改正提言.....03 | ◆青年集い 午年に寄せて 研修会案内.....09 |
| ◆タックス・フェアー 納税表彰.....04 | ◆税務署からのお知らせ.....10 |
| ◆租税教室(脊振小・基里小・三根東小).....05 | ◆福利厚生制度の案内.....11 |
| ◆社会貢献活動.....06 | ◆新会員紹介 がん検診 知的財産.....12 |



国際PRの成功

— 東京五輪招致 —

PRコンサルタント 大津 彬裕

56年ぶりの第32回夏季オリンピック（20年）の東京への誘致成功は、日本がこれまで苦手としてきた国際PRの一大成功事例となった。

この成功が残した教訓は、①主催都市、政府、政界、財界、皇室、民間とオール・ジャパンの力を結集する②技術的には全ての力を統括して具体的な戦術を練る「司令塔」を持つ③その理念を明確にしてプレゼンテーションに当たることだった。

すべては、09年10月、16年夏季五輪の招致に、東京が失敗した反省から始まった。この時は、マドリード、シカゴら4都市と競い、「南米初開催」の旗印を掲げたリオデジャネイロ（ブラジル）に決まった。1988年の名古屋、08年の大阪に次ぐ3連敗で、日本スポーツ界の外交力が問われた。

IOC総会が開かれたのは、自民党から民主党への政権交代があった1か月後で、オール・ジャパンの結成どころではなかった。「なぜ東京で開くのか」という理念も明確に示せず、旗幟鮮明なリオ、さらにマドリードの後塵も拝した。

今回は終盤、スペインのフェリペ皇太子の健闘に対抗して、皇族の政治利用を浴る宮内庁の抵抗を押し切って、スポーツ界に知人が多い高松宮妃久子さまの出席が実現、皇族を含む「チーム・ジャパン」が実現した。

目立った司令塔の活躍

久子さまは、総会への正式プレゼンの一番手として、英仏語を使って、見事にIOC委員の心に食い込んだ。この裏には、プーチン首相との会談を通じてロシアのIOC委員3人の支持を取り付け、集票にも尽力した安倍首相らの意向があったと見られている。

再招致に名乗りを挙げた石原慎太郎前知事を引き継いだ猪瀬都知事は、ニューヨークタイムズ紙とのインタビューで、「イスラム教国はけんかばかりしている」と、競合都市との批判や比較を禁ずるIOC規則に違反する失言をし、物議をかもした。しかし、就任直後から五輪を「都政最大のテーマ」と位置づけ、誘致運動の最中に、愛妻の死に直面しながら、スポーツマン知事として、どこでも趣味のジョギングを披露するなど、涙ぐましい努力を重ねPRに努めた。

この首相—都知事の政治家ラインに、昨年7月、日本で唯一のIOC委員になり、招致委員会理事長になった竹田恒和氏が加わり、司令塔の形ができた。竹田氏は旧皇族竹田宮の3男。馬術選手として五輪出場2度の経験を持つ。その人脈を生かして、当時、次期IOC会長選の有力候補で、今度の総会で会長に選出されたドイツのトマス・バッハ副会長に接近するなど、集票に大きく貢献した。

最後までぐらつき、日本の泣き所だった理念（開催理由）は、「スポーツの力の素晴らしさ」に落ち着き、各プレゼンターの努力でそれなりに評価された。

土壇場になって日本誘致に立ちはだかった原発の汚染水流出問題では、安倍首相は総会で「状況は完全にコントロールされており、影響は原発の湾内にブロックされている」と言い切った。この国際公約を守るかを世界が見守っている。

【筆者紹介】

大津彬裕（おおつ・よしひろ） 東京教育大学卒。昭和37年読売新聞社入社。社会部・外報部・解説部記者を経て、共同PR社顧問。現在、PRコンサルタント。慶応、玉川、相模女子大学非常勤講師を歴任。「ブランドは広告でつけれない」（翔泳社、共訳）など著訳書多数。



新年のご挨拶



公益社団法人鳥栖法人会
会長 木下 武文

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
平素より鳥栖法人会の運営には、特段のご支援ご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます。
私は、昨年5月の総会において皆様の推挙により鳥栖法人会会長の重責をいただきました。
法人会では、会員の皆様と一緒に異業種がお互い「知り合って良かった」と思える企画を新たに加えながら、本年も「税知識の習得・納税意識の高揚

健全な経営 社会貢献活動」を柱として税務研修会や租税教室、タックス・フェア、環境保全活動等の事業に取り組み、会員と地域企業の皆様が元気で事業活動に邁進できますよう「地域に根ざした 魅力ある法人会」活動に取り組みたいと考えておりますので、会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員企業のご発展とご健勝ご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

法人会
全国大会

全国90万法人会員の総意

平成26年度税制改正提言
鳥栖・神埼両市長・議長へ

昨年10月3日、青森市において、第30回法人会全国大会が開催され、全国から1900名の法人会会員が参加し、研修と交流を深めました。(当会から木下会長、重松専務理事が参加)

第1部では、(株)東レ経営研究所の佐々木常夫氏による「これからの時代の経営とリーダーシップ」をテーマに記念講演が、第2部の式典では、会員増強、福利厚生制度推進の表彰に続いて平成26年

度の税制改正に関する提言の説明及び大会宣言が決議されました。

この決議を受け、鳥栖法人会ではこの提言書を昨年12月10日に神埼市長、議長に、12月11日に鳥栖市長・議長に提言内容の説明と実現に向けて要望活動を行いました。



橋本鳥栖市長へ要望する大石徳彦税制委員長
菅スマ子副委員長、橋本静子委員



松本神埼市長へ要望する古賀義治副会長

税を考える
週間事業

タックス・フェア (税金展) 開催 1,200名が入場



鳥栖税務署長表彰 菅スマ子氏・藤田尚義氏



税知識の普及と納税意識の高揚を図るため、「税を考える週間」事業として、今年度も「私たちの暮らしと税金 税ってな～に?」をテーマにタックス・フェア (税金展) を11月9日、鳥栖市のショッピングセンターで開催し、市民1200名が入場されました。

会場では、税金の使われ方や世界の消費税などの税金に関するパネルや1億円のサンプル、鳥栖税務署管内の中学校生徒による「税に関する作文」優秀作品14名の表彰と展示をしました。



税金相談コーナーでは、担当の税理士に相続税や消費税、年金問題等に関して多くの皆様が熱心に相談されていました。

税金クイズは、大人用は「国の歳出で一番大きいものは?」など10問、子供用は「小学生一人に年間教育費はいくら使われている?」など5問に分けて作成。その効果か子どもの参加が多く、239名が回答。大人293名と併せて532名から回答いた

だきました。

回答者は、会場内の税に関するパネルを真剣に見回りながら回答していました。



回答者の内訳は、地域別では「鳥栖市内が68%」、性別は「女性が74%」年代別では「30代が25%」が最大。

例年同様、鳥栖間税会、九州北部税理士会鳥栖支部、鳥栖税務署管内納税貯蓄組合連合会との共催で鳥栖税務署の後援を得て開催。

受章おめでとうございます

永年に亘り申告納税制度の普及・発展及び納税道義に顕著な功績を挙げられたお二人が、鳥栖税務署長より表彰されました。

『鳥栖税務署長表彰』



菅 スマ子氏
理事 (有)三栄車輛工業取締役

『鳥栖税務署長感謝状』



藤田 尚義氏
常任理事 (株)ふじた取締役会長

税知識の向上を図る鳥栖法人会

租税教室

青年部会と女性部会員を講師に

脊振小・基里小・三根東小で実施

税金が毎日の生活の中でどのように役立っているのかの理解と関心を深めていただくために6年生を対象に、青年部会と女性部会が講師を務めて租税教室を脊振小、基里小、三根東小で開催しました。

教室は、まず法人会についてと租税教室の目的を説明、続いて国税庁制作のDVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」上映、事前に出された児童生徒からの「税金に関する質問」を税務当局作成の「模範回答」を基に説明、「1億円サンプル」、租税教室の感想文と絵はがきコンクールへの応募依頼という手順で進めました。

児童生徒には、全法連制作の「クイズだぜい」当会と間税会合同制作の「クリアファイル」「絵はがきコンクール応募用紙」を配布しました。

教室には、青年部会・女性部会員と鳥栖税務署からも参加いただきました。

市基里町)で大坪寛青年部会長(株大同工務店社長)が講師を務め、法人会や税金について説明の後、DVDを見て税金が使われているものや、もし税金がなかったらどうなるか、生徒からの質問(58問)などを児童生徒に問いかけ、回答にはパネルを貼りながら、授業を進めました。

最後に講師から「しっかり勉強して、税金を納める人になってください」とお願いしました。



三根東小学校での租税教室

12月19日にみやき町立三根東小学校(43名みやき町天建寺)で原直嗣青年部会理事(株原組専務)が講師を務め実施。

本校の卒業生で、みやき町で建設業を営んでいると自己紹介の後、小学校内の建物を例題に、建設費の負担を全校児童一人あたりいくらになるか、みやき町民一人あたりでは、佐賀県民一人あたりでは、どの金額なら負担できるかを問いかけながら、税金とは、社会の会費ですからみんなで負担することが大事です。「将来、大きくなったら皆さんも納税できる人になってください」とお願いしました。



脊振小学校での租税教室

去る11月13日に神崎市立脊振小学校(6年生16名 神崎市脊振町広滝)で齊藤美代子女性部会長(有ぶらざTOBU社長)が講師を務め実施。自己紹介や法人会の内容・活動について説明の後、DVDを見ての感想や児童生徒からの質問(15問)を基に、税金の大切さや使われ方、1億円の重さなどを質問しながら授業を行い、最後に、「絵はがきコンクール」への応募をお願いしました。

講師から、「大人になったら正しく納税しましょう」とお願いしました。



基里小学校での租税教室

去る12月17日に鳥栖市立基里小学校(71名鳥栖

税に関する 絵はがきコンクール



租税教室などを通じて税の大切さや税の果たす役割について絵はがきにすることにより、税をより深く理解してもらうことを目的に実施。

租税教室の授業を受けた脊振小(15点)・基里小(65点)・三根東小(22点)の児童生徒さんより応募のあった102点の作品を1月30日に審査します。公平に審査するため、各市町の教育長、税務署長、開催校の校長、担任の先生、法人会役員、青年・女性部会員に審査員をお願いする予定です。

表彰は、鳥栖法人会会長賞1名

鳥栖税務署長賞3名 青年部会長賞6名

女性部会長賞6名 入選20名

法人会会長賞は、九州北部法人会連合会に推挙します。

正しい納税とまちの元気と環境への思いやり

クイズだゼイ！と水切りネットを配布

今年も地域の元気と税知識の普及、納税意識の高揚、身近にできる環境保全を目的に、社会貢献活動を実施。

各地域では、「まちの元気と環境への思いやり」と書いた横断幕を先頭に役員・委員・青年部会・女性部会・支部役員及び大同生命保険の皆さんで参加。沿道や会場の皆さんに税の教育教材「クイズだゼイ！」と「水切りネット」を配布。税金の大切さと身近にできる環境保全を呼びかけました。

神埼支部脊振地区「第16回わんぱくまつり」

遠くに住む親せきや家族が集まるお盆の8月15日、高取山公園で開催されたわんぱくまつり。

当日は、子供から大人まで、ヤマメのつかみ取り、アイスクリームの早食い競争、オカリナ演奏、盆踊り、よさこい踊り、まつり最後の1300発の花火の打ち上げなどでふるさと脊振の一夜を楽しんでいました。

岡村良浩副支部長はじめ脊振地区の会員さん7名で参加。(300個配布)

吉野ヶ里支部「吉野ヶ里町民体育大会」



町民の健康増進と交流をすすめるため開催される町民体育大会。

今年も10月14日(体育の日)に開催され、伊東和孝支部長はじめ21名で参加。(600個配布)

三根支部「江見沖神事伝統文化祭ふれあい祭り」



9月8日(日)に行われた八幡神社の江見沖神事。神社境内では露店も出店し、そうめん流しなどの催しも行われ大変にぎわいました。

野田初憲支部長はじめ16名で参加。(400個配布)

上峰支部「かみちやりグランプリ」



地域活性化を目的に、今年初めて三輪車二時間耐久レースや三輪車短距離レースをメインイベントとして「かみちやりグランプリ」が11月24日、旧自動車学校跡地で開催されました。

山口裕久支部長はじめ20名で参加。(150個配布)

北茂安支部「茂安公時代まつり」



江戸時代の鍋島藩の名将「成富兵庫茂安公」の功績を称えた「時代まつり」が10月12日(土)、白石神社境内で開催。毎年恒例の「流鏝馬」には多くの観客とカメラマンが沿道に並び、「当たりの」に見事に当たるたびに大きな拍手が起こりました。

藤永正広支部長はじめ13名で参加。(400個配布)

「クイズだゼイ」「水切りネット」とは?

税について楽しく学べる「クイズだゼイ!!!」

今年から、ゲゲゲノ鬼太郎が教える税の教育マンガ本「税ってなんだ」に変わって全法連が制作。

ゼイキング(KING OF TAX)を目指し「税金」について、みんなでクイズ形式で楽しく学ぶ冊子。17問。

環境保全型水切りネット(ポリ袋)

全体があみ目で水切れ抜群、台所の流しに簡単にセットできる伸縮性にも優れ、燃やしても有毒ガスが発生しない無公害の特徴を持つ「水切りネット」。鳥栖法人会の会員さんのご協賛を得てオリジナル商品として作成。

ご希望の方は、法人会事務局まで。☎0942-82-5400

税務研修会

加藤税務署長を講師に

昨年12月18日、鳥栖税務署加藤正己署長を講師に迎えて税務研修会を鳥栖間税会と共催で開催。

4月からの消費税引き上げに伴う円滑な転嫁への取り組みと贈与税の改正に伴う祖父母からの教育資金の贈与について、資料に基づき説明があり、最後の質疑応答では「消費税引き上げに伴う会計ソフトの導入に対する助成金は？」（現在のところ助成制度はない）、「軽減税率の導入時期と対象業種は？」（10%の引上げ時に検討するとの方針のみで、時期や対象業種は未定）などの質疑応答が行われた。

当日は、法人会役員や会員、鳥栖間税会会員や役員合計43名が熱心に受講。

新設法人説明会

新設法人の税金ガイド

一昨年から昨年にかけて新たに設立された法人を対象に「会社の税金ガイド」説明会を開催。

従来は年1回開催していましたが、今年度より1回目（税務署主催）の欠席者を対象に2回目を12月に当会主催で開催。

説明会では、全法連制作の「新設法人のための会社のガイドブック」をテキストに使用し、届出書、青色申告、確定申告、収益の計上時期、特定同族会社の留保金課税、役員給与、源泉徴収、減価償却等について、鳥栖税務署法人課税部門鐘ヶ江誠一上席官より詳細に説明。

出席者は7名。

支部税務研修会

もっと知りたい税のこと

昨年7月から10月にかけて神埼・吉野ヶ里・鳥栖・北茂安・基山の各支部では、講師に鳥栖税務署法人課税部門渡邊利幸統括官を招いて「もっと知りたい税のこと」をテーマに研修会を開催。

研修内容は、税の意義と役割、変化する社会・経済の構造、国の財政の現状、税制の現状、社会保障と税の一体改革、税制改正点について。

研修会には、支部役員だけでなく会員の方も参加され、研修後には消費税の引き上げに伴う対応や源泉徴収、行財政改革等を熱心に質問されました。

出席者は5支部合計80名。

決算事務説明会

わかりやすい会社の決算・申告

毎年、四半期ごとに鳥栖税務署法人課税部門担当官を講師に開催している決算事務説明会を今年も5月、8月、12月、2月20日（予定）に開催。

テキストに全法連制作の「わかりやすい会社の決算・申告の実務」を使用し、決算申告事務の流れ、決算調整、申告調整、特別な課税と税率について説明。また、25年度法人税関係の改正点、各税目（源泉徴収の仕方、消費税改正に伴う留意点、減価償却、印紙税等）について詳細に説明をしていただきました。出席者からは「源泉徴収と確定申告や役員給与、交際費等」について質問されていました。

受講者合計 42名

博多にわか講演会

へそくり？それは特定秘密やけん言われん



講師に、博多にわか保存会常任理事 伝承委員長松崎紋太氏を招いて「博多仁○加で世相ば斬る」と題して開催。

松崎氏は「昨日今日のにわか芸人ではありません」「今81才ですが100まで生きて。約束を守れなかったら死んでお詫びします」（笑い）と自己紹介の後得意のにわかで「女房がお伊勢参りに行く」と言ったので「お金はどうした」「へそくりたい」「そのへそくりはどうしたとや」「それは特定秘密やから言われん」（笑い）、最後に会場から「お題」をいただいて即興でにわかを披露。会場は終始笑いと拍手に包まれていました。

この講演会は、鳥栖間税会設立20周年記念事業に法人会も賛同し共催で昨年11月15日に開催。

出席者は42名。

お知らせ

テキスト無料進呈

「わかりやすい会社の決算・申告」25年度版
「新設法人のための会社の税金ガイドブック」(同)
ご希望の方は、
法人会事務局（Tel0942-82-5400）までご連絡ください。



《午年に 寄せて》



知り合って良かった

木下 武文
天吹酒造合資会社
(昭和17年生)

新年明けましておめでとうございます。

昨年、政府内において世界戦略として「日本らしさの結晶」といわれる日本酒の振興を図るプロジェクトが始まり、当社の海外輸出も順調に推移し始めました。

「日本酒で乾杯条例」が佐賀県で成立施行され、県内各地で「日本酒で乾杯」が認知され始めうれしい限りです。

昨年は、天皇皇后両陛下主催の園遊会に夫婦でお招きを受け、至福の空間と時間を過ごしました。私も今年で72歳。祖父も父も72歳で亡くなりましたのでこれからの人生、有意義に過ごしたいと念じています。まずは健康。ゴルフは冬期を除き週1回、日常では両足に1kgの重りを付けて日常業務(中富前会長直伝)

毎日、一合の晩酌を楽しむ。肌に潤いが……。宴席は非日常。旨き酒を飲みたい、酒量は二合程度。和らぎ水を飲み胃の中で薄め、明日の目覚めは爽快。

物事をポジティブに考え、どうしたら可能かを試行錯誤する。おおらかな気持ちで過ごせるように心がける。

5月の総会で皆様の推挙により鳥栖法人会会長の重責をいただきました。

法人会では、皆様と一緒に異業種がお互い「知り合って良かった。」と思える企画を実行したいと思います。



生かされる生命の 重みを大切に!

齊藤 美代子
有限会社ぶらざTOBU
(昭和17年生)

「齊藤さん!来年は“年女”ですよね?!

その言葉の意味が最近まれに響いた。

今まで何気なく生きてきた時間が走馬灯のように頭をよぎる。そうか!年女って十二年を6回過ぎてきたのか? そう思うと十二年毎に数奇な運命に晒され、その度に何とか乗り越えて来た自分を思い出す。十一才で父母の離婚・二十二才で最愛の人と結婚・二十四才で出産(第一子)・三十六才で主人と死別・四十八

才で新社屋建設・六十才で息子急逝……

さて、これからの一年間!何が起るのか神のみぞ知る運命であるけれど、生きる過程で出会う方たちに助けられ、私は自らのライフワークを教えて頂いて来た様に思う。

二十五年前に偶然出会った「月光の夏」の原点の人!

上野歌子先生に教えられた、人としての生き方はそれまでの私の人生を360度変える程であった。先生の言葉に込められた熱い思いは現在の私の心にずっと宿っている。

《齊藤さん仕事とはね?お金儲けの手段ではないのですよ!人はたくさんの方たちに助けられながら生きていける!その恩返しをする為に多くの人達に出会い、恩返しの方法を教えて貰うのです。仕事はその多くの人達と出会う手段なのですよ!》と……更に《人はね?誰かやるだろう……という事は誰もやらない事!暗いと不平を言うより進んで明かりをつけましょう!》とも教えられたのです。それから二十五年、現在も「月光の夏」はまだ日本!いや世界のあちこちで上映会や戦争の悲惨さを語り継いでいます。昨年末は“フッペル”のピアノ保存から映画製作まで市長として最高のご尽力をされた「山下元市長」の訃報に会った。特攻隊語り部の方々と同じくらい原点を知る大切な方の訃報に出会う時、鳥栖市で残された平和の語り部「フッペルのピアノ」がもっと地域の方々、特に次世代を担う若い人たちの心に根付いて欲しいと切望しています。

鳥栖駅東に建立された「平和の塔」から毎日夕方5時に奏でられる《月光》の美しくも悲しい曲が鳥栖市民全ての人々の耳に届くことを願って止みません。

そして、いつの日か鳥栖市のイメージが「文化とスポーツと平和」の街と心から自負できる様……私の仕事はまだまだ終わりそうにありません!



元気で地域活動を

森園 光子
有限会社森園建設
(昭和17年生)

新年明けましておめでとうございます。

私は今年6回目のウマ年を迎えました。5回目の還暦のときには、富士登山に挑戦しました。その後、富士山は世界遺産に指定され、お山の写真や映像を見るにつけ、あの時の感動を思い出します。

還暦から12年。いろんな事がありました。主人が病気で入院し、私の身の回りが一変。でもお医者様や周りの人達の支えで主人も元気を取り戻し、少しホットしています。

主人が、7年前に会社の代表を息子に譲り、結婚以来50年近く関わってきた仕事ですが私たち三代目は、今は離れた位置から四代目を見守っています。法人会の折には、元気な同年代の方々からパワーをもらい、また、友人との食事会ではほんの少しお酒をいただいで楽しくおしゃべりをし、週1回通っている体操教室が私の健康の元です。

これからも私にできる範囲で、地域に根ざした活動を頑張っていきたいと思います。



生き抜く馬

三橋富士子
株式会社シオン 三橋印刷
(昭和17年生)

新年明けましておめでとうございます。

三方の上に飾られた白く丸い鏡餅は、幸せの象徴であるといわれています。

つきたてのお餅を、黄粉や大根おろしで食べるあの美味しさ、金網の上でだんだんと膨れてくる焼き餅のたまらない香りが家中に漂う時、子供は顔がほころび、親は長年の苦勞を噛みしめながら正月を迎えた喜びを感じるのではないのでしょうか。

人生いろいろ、馬もいろいろ。名馬、竹馬、競走馬、放牧で遊ぶ馬、伊勢神宮の神馬、外国大使を迎える譲る馬等。自分は何馬だろうかと考えたとき、生き抜く馬ではなかったらうか。

3歳にして終戦を迎え、6回目の午年を迎えた今年、自分の人生はあつという間だったのか、長い長い人生だったのか、と、つくづく考える今日この頃です。

能力や体力に自信はありませんが、生き抜く馬として、私なりに精一杯頑張りたいと思いますので、竹馬の友としてご支援ご協力をお願いいたします。

決算事務説明会のご案内

1月～3月の決算企業

内 容	決算調整と申告調整 収益の計上時期 役員給与・交際費の損金算入・不算入 減価償却 消費税引き上げへの対応 源泉徴収 法人税の改正点など
日 時	2月20日(木) 午後2時～
場 所	鳥栖商工会館3階
講 師	鳥栖税務署法人課税部門担当官
その他	上記決算企業以外も受講可

法人会全国青年の集い

租税教室先進事例研修

青年部会では、社会貢献や租税教育活動などを発表する場及び会員相互の情報共有や研鑽を図る目的で、「全国青年の集い」を開催。

今年度は、11月7日・8日に広島市において、「百万一心!・東ねよう三本の矢を」をスローガンに第27回全国青年の集いが開催され、全国から約2638名の青年部会員が参加。(鳥栖からは大坪部会長、宮原副部会長が参加)

集いでは、租税教育活動のプレゼンテーションと「百万一心!10年先の青年部会の理想の姿に向けて」の円卓会議が行われ、法人会青年部会のこれらについて活発な意見交換が行われた。記念講演では、吉川晃司氏が「日本一心 日本の未来のために果たすべきこと」と題して講演。

当会青年部会では、社会貢献活動として税の広報啓発活動と租税教室を実施しています。



佐賀県女性部会連絡協議会視察研修

やさしい遺産相続の対策について サガハイマツで先進医療視察

恒例の佐賀県連女性部会視察研修会を、昨年10月24日、鳥栖市内で開催。

県内5法人会女性部会員59名(鳥栖から13名)が参加。

第1部の研修は、州都綜合法務事務所の原弘安氏より「やさしい遺産相続～ご家族・社員のために知っておきたいこと～」をテーマに開催。

相続は争続、そのための対策についてなどわかりやすく説明。また、公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団専務理事北村信氏より、九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツ)の概要について説明。

研修後、参加者はサガハイマツを訪問し、治療方法や治療対象がんの種類、治療費、1日で治療できる人数等の説明を聞きながら先進医療の素晴らしさを熱心に視察していました。

確定申告相談会場のお知らせ

鳥栖税務署の確定申告相談会場は **2月7日(金)** (土・日曜および祝日を除く) から 開設いたします。

【対象税目】 所得税、贈与税及び消費税 (個人事業者のみ)

【受付時間】 午前9時～午後4時 (相談は午後5時まで)

※受付終了間際は大変混雑する恐れがありますので、お早目にご来場ください。

【申告書の提出と納税の期限】

- ・所得税・贈与税の申告と納税は、平成26年3月17日(月)まで
- ・個人事業者の消費税の申告と納税は、平成26年3月31日(月)まで

～確定申告期における日曜日の相談について～

鳥栖税務署では、土・日曜及び祝日はお休みとなりますが、平成26年2月23日(日)と3月2日(日)に限り、次の会場で申告相談を行います。

佐賀税務署 〒840-8611 佐賀市駅前中央3丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎
受付時間 午前9時～午後4時 (相談は午後5時まで)



申告書の作成は

国税庁ホームページの



「確定申告書等作成コーナー」で!

作成したデータは、e-Tax (電子申告) を利用して提出できます。

復興特別所得税も自動計算
しますので、計算誤りがあり
ません!

消費税に関する問合せ先

○国の各機関では、下記のような疑問に対応するため、消費税の相談窓口を設置しています。

- 消費税の仕組みについて知りたい
- 値札の貼替えは必要か
- 税込表示をしなくてもよいと聞いた



鳥栖税務署

☎ 0942-82-2185

- ・一般的な相談→電話相談センター (自動音声案内「1」)
- ・個別の相談→鳥栖税務署 (自動音声案内「2」)

- 取引先に対して消費税分の値上げができない
- 消費税分を値上げすると取引しな
いとされた



公正取引委員会事務総局九州事務所

☎ 092-437-2756

事業を所管する省庁の窓口
九州経済産業局消費税転嫁対策室

☎ 092-482-5590

そのほかは内閣府のHP「各省相談窓口一覧」を参照 (※)

- 転嫁カルテル・表示カルテルの届出
について知りたい



公正取引委員会事務総局九州事務所

☎ 092-431-5882

- 事業者が消費税分を値引きする等の
宣伝や広告を行っている
- 一般的な価格の表示方法について
知りたい



公正取引委員会事務総局九州事務所

☎ 092-431-6031

消費者庁表示対策課

☎ 03-3507-8800

- 便乗値上げではないか



消費者庁消費生活情報課

☎ 03-3507-9196

- どこに聞けばいいかわからない
- 消費税に関することは何でも



消費税価格転嫁等総合相談センター

☎ 0570-200-123

鳥栖税務署

☎ 0942-82-2185

※各省庁相談窓口一覧; <http://www.cao.go.jp/tenkataisaku/madoguchi.html>

税知識の向上を図る鳥栖法人会

【法人会の会員のみが 加入できる 経営者大型総合保障 制度 紹介運動】

「ひろげよう、きずなの輪
あなたのハートで被災地支援」



(公社)鳥栖法人会
厚生委員長 野田 初憲



(公社)鳥栖法人会
所管副会長 宮原 荘治

平素より法人会活動に格別のご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

「経営者大型総合保障制度」は会員企業の皆様が安心して事業活動に専念できる制度として昭和46年に法人会が開発した制度で、経営者の皆様のさまざまなニーズにお応えできる制度となっております。

平成25年度も残すところ2ヶ月となりましたが、今年度全法連では「ひろげよう きずなの輪 あなたのハートで被災地支援」と銘打って「大型保障制度」加入への紹介運動を実施しております。是非、皆様のご支援をお願いいたします。

つきましては、大同生命保険との協働による「大型保障制度」加入推進運動を実施中ですので、お取引先並びにお知り合いの企業のご紹介をお願いいたします。

皆様の企業にお伺いいたします大同生命保険(株)鳥栖営業所の皆さんを紹介いたします。
(カッコ内は担当支部・地区)



小田 伸司
(所長・全支部)



岡野 理枝
(鳥栖・基山支部)



加藤 涼子
(神埼・北茂安支部)



大隈 栄一
(中原・三根支部)



松崎 太吉
(鳥栖支部)



大石 信子
(鳥栖支部)



森田 賢一
(吉野ヶ里・神埼支部)



久米田 ルミ
(鳥栖・基山支部)



森 ゆかり
(北茂安支部)



田中 啓子
(鳥栖・上峰支部)



お問い合わせ及びご連絡は
大同生命保険(株)鳥栖営業所
電話 0942-82-8238

新規会員紹介

支部	事業所名	代表者	業種	所在地	電話
上峰	葉隠ビルサービス(有)	草場 祥行	旅館業	上峰町坊所1570-85	0952-52-2610
神埼	(株)一心工業	鶴 啓介	建設業	神埼市神埼町尾崎3780-11	0952-53-6676
鳥栖	鳥栖セレモニー(株)	天野 二夫	葬祭業	鳥栖市藤木町2-2	0942-84-0450
鳥栖	(非営)全力疾走	居石 晋弥	社会福祉業	鳥栖市儀徳町2650-2	0942-50-8857
北茂安	割烹いまむら	今村 光男	飲食業	みやき町東尾574	0942-89-2025

会員ゴルフ大会



野田初憲さん ((有)割烹松屋)
NET69. 6で優勝

第15回会員親睦ゴルフ大会を、会員の健康と情報交換・交流を目的に去る10月26日、87名の参加で鳥栖市村田町のブリヂストンカントリークラブで開催しました。

大会には、優勝カップを天吹酒造(資)・大同生命保険(株)・AIU損害保険(株)・アメリカンファミリーより寄贈いただくとともに会員の皆さんより多数の賞品を提供いただきました。心よりお礼申し上げます。

上位入賞者は次の皆さんです。

- 2位 龍 弘さん (株)龍工業)
NET 70. 0
- 3位 鳥飼 一平さん (株)相生緑地建設)
NET 70. 6
- 4位 古賀 善光さん NET 71. 4
- 5位 西村 俊基さん (株)花屋敷)
NET 71. 6
- ベストグロス賞 田中 孝弘さん (株)田中設備農機)
76
- レディース賞 井上 彰子さん (旭ゴルフ(株))
NET71. 8

今年度は、秋口に佐賀カントリークラブで開催予定です。

会員の皆様の多数の参加をお願いします。

佐賀県がん検診向上サポーター企業募集

がん大国日本の中でも佐賀県のがん死亡率は全国ワースト9位。中でも肝がんの死亡率は13年連続ワースト1位。誰もがかかる“がん”について正しい知識の普及・がん検診受診を図り、がん死亡の減少を図るため、佐賀県では、県内企業に「佐賀県がん検診向上サポーター企業」の登録を進めております。

詳しくは、佐賀県健康増進課

電話 0952-25-7074

F A X 0952-25-7268まで。

知的財産に関する悩みや相談の窓口案内

中小企業等が経営の中で抱えるアイデア段階から事業展開までの知的財産に関する様々な悩みや課題をワンストップで解決します。

※アイデアを思いついたが、どうしたら権利になるか?

※商品のネーミングを登録したいが?

※特許を取る費用は?

※他社から権利侵害の通知を受けたが?

など専門家(弁理士等)がお答えします。

詳しくは、公益財団法人佐賀県地域産業支援センター知的財産課

電話 0952-30-8191

F A X 0952-30-8193まで。

編集後記

木下武文会長「会員事業所の視察会を実施して、知り合って良かったとお互いの理解度を深めましょう。」

今年は、会員企業訪問を実施したいと思います。是非、ご参加ください。(し)